

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|---|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 1 | 理念に対しては、開設当時に掲げたままの状態。その当時に比べ、利用者様のニーズも変化している為変更が必要と思われる。 | H28/2/1～新たな理念で再スタートし努めていく。 | 3ヶ月間の間に、職員個別面談・カンファレンスなどを通じ今のホームに必要な事・掲げていきたい事を聞き取り具体的な理念を職員全員で作り上げる。 | 3ヶ月 |
| 2 | 10 | ご家族様のお話を聞く機会はあるが、具体的な提案・要望を聞く機会が少ない。コミュニケーションを密にしていき信頼関係を強化していきたい。 | ご家族様全員にアンケートの配布。また、面会時などにお話をする時間を増やしていく。 | アンケートの作成しその返答内容を返信し実行していく。 | 3ヶ月 |
| 3 | 2 | 地域には社会資源がとても豊富にあるが、日常的に交流が出来ていない。地域密着型サービスである為、その目的を果たしていきたい。 | 自分たちがここの職員であり、ここのご利用者様である事を地域の方に認知してもらう。 | 地域に発進する為に、散歩の機会を増やしていく。まずは地域の方に認めて頂く事から始めたい。 | 6ヶ月 |
| 4 | 33 | 利用者様のADLが低下してきた時、ご家族様がホームでの看取りに対する要望があった場合に備える事が今後の自分たちに必要な事だと思う。 | 自分たちの想い・ご利用者様の想い・ご家族様の想い・それにお答え出来る準備を念入りに進めていく。 | この問題に関しては、職員一人一人のスキル・知識・意思もとても重要。また、チームケアとしての意思の統一もしていけないといけない。よって勉強会を定期的開催しスキルアップしながら準備していく。 | 12ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。